



ひびき 南山田小学校だより

Letter of the M.Y. elementary school

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.284
令和元年度 11月号
令和元年 10月 31日

～ Beautiful Harmony ～

ビューティフル ハーモニー

副校長 志波 亮

新元号「令和」に変わり、はや6か月が経ちました。みなさんは、新元号に慣れましたでしょうか。

「平成最後の〇〇」という言葉がいたるところで使われ、寂しい気持ちがしましたが、今では「令和初の〇〇」という言葉をよく耳にします。不思議なもので、「令和初」と聞くと、ちょっとした高揚感と同時に力が湧いてくる気がするのは私だけでしょうか。

10月20日実施しました「第23回 運動会」も「令和初の運動会」となりました。当日に向けて体育館や校庭では、徒競走、団体競技、団体演技の練習はもちろんのこと、応援団員の応援練習や、リレーのバトンパス練習など、運動会に向けて熱心に練習する子どもたちの生き生きとした姿があふれていました。さらに、高学年は裏方の仕事として運動会を支える様々な係もあり、責任をもって準備を進める姿は頼もしさを感じました。

さて、「令和」とは、外国にはどのように伝えられ、表現されているかご存知の方も多と思います。文頭に大きく書きました *Beautiful Harmony* ビューティフル ハーモニーと表現され、広まっているようです。なぜでしょう。政府は、新元号発表時に「令和とは、人々が美しく心を寄せ合うなかで文化が生まれ育つ。」という意味が込められていると説明しました。また、「日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる日本でありたい。」とも付け加えて説明したことによるようです。

運動会当日は、保護者の皆様や地域の皆様など多数のご参観やご声援をいただきました。両手を前後にふって全力でゴールを目指した徒競走。友達と心をつなぐ、指先、目線まで意識して体全身で表現した団体演技。友達と勝利を目指し、力強く競い合った団体競技。友達のために声がかかるまで大声を出し、力いっぱいに応援した応援団。友達と心とバトンをつなぎ、風を切って走ったリレー選手。そして、運動会が円滑に進むように陰で支え続けた高学年の子ども達。そのきらきらと輝く数々のシーンがそこにはありました。子ども達の運動会で「〇〇をがんばりたい。」「〇〇で1位になりたい。」「〇〇を成功させたい。」など寄せる思いは一人ひとり違います。ですが、子ども達の純粹で素直な美しい心を寄せ合いながら、ひたむきに表現するその姿は、色とりどりの大きな花となり、南山田小の校庭に咲き誇りました。その光景は、見てくださった皆様の心に届いたのではないのでしょうか。

「第23回 令和初の運動会」を大きな事故やけが等がなく、無事に終えることができました。これも、保護者・地域の皆様のご多大なご支援、ご協力があったことでした。この場を借りまして御礼申し上げます。また、子ども達一人ひとりが達成感や満足感を得られた運動会となりましたのなら教職員一同、心よりうれしく思います。

新時代・令和も運動会をはじめ、本校の目指す教育目標の実現に向け、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、学校・家庭・地域が *Beautiful Harmony* を奏で、本校の子ども達のよりよい健全育成につなげていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。